高3 スタンダードレベル英語 リーディング<英文解釈編>

The future starts today, not tomorrow.

Pope John Paul II

未来は今日始まる。明日始まるのではない。

ヨハネ・パウロ２世

星の数ほどある塾・予備校・教材の中から，この講義を選んでくれてありがとうございます。

「画面越しの講義」ということに多少の抵抗と不安があるかもしれません。

無機質な淡々とした授業，わかりやすさを強調するあまり緩いテンポの授業，受験生を子ども扱いするかのような綺麗すぎる板書とゆっくりした話し方…

もしかしたらそんな授業を想像するかもしれません。

また，見栄えだけを意識した過剰な効果音と編集，再生回数を上げることに躍起になったタイトルやサムネイル，世間で流行った方法論を安易にコピーする教え方…

もしかしたらそんな動画を想像するかもしれません。

しかしこの授業は，そういった世間の価値観をすべてリセットし，「本当の英語の考え方」と「リアルな授業」を追求し，すべての領域において，プロフェッショナル集団が作り上げてきたものです。

「新しい英語の世界」を知ってください。

「本当の授業」を体感してください。

そして「憧れの大学」に合格してください。

受験勉強というのは，人が一気に成長できる素晴らしい機会です。

英語の文法・数学の公式・理社の知識… 天才たちが血の滲む努力をして手に入れた「世の中の真実」を一気に学べるわけです。

こんな濃密な時間は，一生の中に２度も３度もあるものじゃありません。

合格通知を手にするその日まで，ぜひ受験勉強に燃えてください。

関 正生（せきまさお）

目　次

はじめに　授業の受け方と英語の勉強法
第１講　文型 - ①
第２講　文型 - ②
第３講　SV の把握
第４講　強調構文
第５講　倒置
第６講　接続詞 - ①
第７講　接続詞 - ②
第８講　因果構文・イコール構文

はじめに　授業の受け方と英語の勉強法

予習～授業～復習について

予習（45 ～ 100 分くらい）

ポイントに目を通し，問題をすべて解いてください。和訳問題が中心となります。和訳は大変ですし，面倒ですが，きっちりと日本語にするよう努力してみてください。文法の問題なら答えを出すことがハッキリしているのでわかりやすいのですが，英文解釈の場合は「どうやって取り組めばいいかわからない」という悩みをよく聞きます。そこで，いくつか注意点をお話しいたします。

① まずは「構文をとる」

英文解釈は「構文を正確にとる」練習ですから，SV や，接続詞･関係詞などをきっちり確認していってください。これが一番大事な作業です。知らない単語が出てきても，今は構文をとることを優先してください。

② 構文の次は「和訳する」

構文の次は「日本語訳」です。「単語をつないだだけ」の訳ではなく，きちんと「構文を意識しながら，その構文を反映した日本語訳」を書いてください。辞書はまだ引かないでください。

③ 何度でも読み直す

次に…　まだ自力で読んでみてください。1 回で理解できるなんてことは稀です。3 回でも 4 回でも読んでください。

④ 知らない単語の「品詞を考える」

ほとんどの受験生が「和訳をしながら辞書を引く」のですが，ボクが考える効率的な勉強法では順番が逆です。構文をとって，その構文を意識しながら和訳していくわけですが，その中で知らない単語が出てきても，和訳を続けてみてください。意味がわからなくても「品詞」ならわかることがよくあります。また，品詞を特定することで，だいたいの意味を「予測」できることもあるからです。

※この「わからない単語の予測」は，昔からよく言われるのですが，単に「予測しよう」と言われるだけでしたよね。みなさんは「品詞を絞ることで予測の精度が上

がる」ということをここで知っておいてください。

⑤　どうしても気になる単語から「辞書を引く」
　それでもわからない単語だけを辞書で確認してみてください。それによって他のわからない単語の意味を予測できるかもしれません。
※まちがっても，知らない単語が出てくるたびに辞書を引きながら読んでいく，なんてことはしないように。ものすごく勉強の効率が悪くなります。

英文解釈では，構文を意識することが大事なので，「日本語としての自然さ」は，この段階ではさほどこだわらなくて大丈夫です。

⑥　和訳の後に「辞書を引く」
　品詞を絞って，（場合により）ある程度の意味を予測できたら，知らない単語を辞書で確認してください。予測が当たれば強く記憶に残ります。予測が外れても，それはそれで印象に残るでしょう。

また，すでに品詞を特定しているので，辞書を引いたときにお目当ての品詞のところからすぐに意味を探せるはずです。つまり，調べている単語が「名詞」だとわかれば，辞書でその単語が「動詞」から始まっていても，そこは一気にスルーして，「名詞」のところからチェックすればOKなのです。

最後に各講の「重要語彙リスト」をチェックしてから授業を受けてください（リストはX～XVIIページに出てきます）。

授業（約 60 分）

●板書なんて写さなくていい

授業の解説を聞いて「理解」することに全神経を注いでください。

今までの授業のクセで「何でも写そうとする」必要はありません。

ボクの授業は徹底的に「理解させる」「その場で覚えさせる」ことを目標にしていますので，理解できたことは書く必要はありませんし，念のためメモするにしても，今までとは比較にならないほどのスピードと鮮明度でメモできるはずです。

●模範の「和訳」も書かない！

とても重要なことですが，「解答例としての和訳を書く」のもやめましょう。絶対にやめましょう。おそらく今まで英語の授業を受けてきて，教師が書く和訳を必ず写してきたと思います。でも，ただ写すだけの行為は無駄でしかありません。

和訳例・模範解答は，テキストの解答部分に書いてあります。ですから，授業中はボクの解説に集中してください。そこで「メモ」をする必要があればしてください。でも，ただ日本語訳を写すのは無意味です。きちんとポイントを理解して，何度も英文を読む…　それを繰り返した後に，「自力で」日本語訳を作ることには大きな意味がありますので，ぜひそういう意味のある勉強をしていってください。

今までの「板書を写す授業・和訳を写す授業」から，「本当に理解する授業」にシフトしてください。受験勉強の効率が格段に向上して，英語力の伸び方が劇的に変わってきますよ。

●ポイントごとに「1 分間復習」を

１つのポイントが終わるごとにチャプターを切ってあります。

一気に次のチャプターに行くのではなく（そのヤル気はすごく良いと思いますが），必ずその場で，そこまでの内容を１分復習してください。

集中した 1 分の復習が驚くほど理解・記憶を鮮明にします。

この「1 分間復習」は，今まで 25 年間ボクの授業で毎回行っていることです。

1 時間の授業で，数回は行います。画面越しに強制はできませんが，ぜひやってみてください。頭の中が整理されるので，次のポイントに集中できるメリットもあるんです。

復習（音読 30 回／理想は 50 回）

●英文の復習として効果抜群なのが「音読」

きちんと理解した英文を何度も音読して脳に染み込ませてください。1 つの英文を最低 30 回，できれば 50 回の音読が目標です。

音読はいろんなところで勧められますが，最大の効果はほとんど語られません。実は音読というのは「英語を英語のまま処理できる力」を養う効果があるのです。

1，2 回英文を読んだだけでは，「いちいち日本語に置き換えて理解する」という状態ですが，何度も音読をして英文を脳に染み込ませることで，「（日本語に置き換えずに）英語のまま理解できるようになる」んです。当然，英文を読むスピードが劇的に上がります。

当然，それだけすごいことですから時間はかかります。目安としては，毎日 30 分音読に使ったとして，効果が出るのに 3 ヵ月くらいかかると思ってください。しかしそれだけの時間をかける価値があります。

●音読の「注意点」

⑴ 「大きい声」に意味はない

音読は必ず声に出してください。黙読だと難しい箇所を無意識のうちに飛ばしてしまうからです。でも大声に意味はないので，ボソボソで OK です。ボソボソ音読なら場所をあまり選びませんから，確実に続けることができます（カフェ・電車・バスの中でも隣に人がいなければ OK でしょう）。

⑵ 何を意識するのか？

① 文法・構文を意識して 10 回

まずは構文解析（主語や動詞など）を意識しながら 10 回，じっくりと。この時点では，構文解析として書き込んだカッコやメモを見ながら，ときには日本語訳を確認しながら，ゆっくりで OK です。

② 内容を意識して 10 回

次に英文を読みながら「意味・内容が浮かぶように」10 回音読してください。内容優先ですから，自分で理解できるスピードで OK です。

③　スピードを意識して10回

ここまでにじっくり20回読んでいるので，そろそろスピードを上げることができるはずです。「自分が本番で読むときの理想のスピード」に徐々に近づけながら読んでみてください。

⑶　スケジュール

①　目安は1日30分, 音読に使ってください。3ヶ月くらいで効果が出るはずです。

②　同じ英文を一気に30回も読む必要はありません。1日5回×6日＝合計30回が目安です。

※ちなみに音読用の英文としては，解答の方にテキストと同じ英文を載せておきますので，それを利用してください。講義内の「音読トレーニング」の音声も活用してください。

カッコの使い分け

⑴　名詞句・名詞節 → <　　　>　※名詞は重要なので，目立つ <　　　> を。

⑵　形容詞句･形容詞節 → [　　　]　※英語の辞書では, in[on] と書いてあった場合, in=on が成り立ちます。the boy [who is tall] ならば，the boy=who is tall が成立するので，形容詞には [　　] を使っています。

⑶　副詞句･副詞節 → (　　　)　※副詞は「なくてもかまわない要素」なので, (　　　) を使います。

第１講　重要語彙リスト

＊授業を受ける前に最低限知っておいて欲しい語句です。

予習の際に語彙が難しいと感じた人は，ここで重要語彙をチェックしておきましょう。

1	at that time	当時
2	try to ～	～しようとする
3	shout out	叫ぶ
4	throat	喉
5	open	開いている
6	trust	信用する
7	harm	害
8	textbook	教科書
9	good-bye	さようなら

第２講　重要語彙リスト

＊授業を受ける前に最低限知って
おいて欲しい語句です。

1	medicine	薬
2	feel better	気分が前より良い
3	careless	不注意な
4	remark	発言
5	patient	患者
6	deeply	深く
7	depress	落胆させる
8	call off	中止する
9	transparent	透明な・見えすいた
10	rude	失礼な

第３講　重要語彙リスト

＊授業を受ける前に最低限知っておいて欲しい語句です。

1	official	役人
2	overcrowded	混雑した
3	decade	10年間
4	difficulty	困難・問題
5	reach	到達する
6	imagine	想像する
7	conference	会議
8	technological	技術的な
9	battery	電池
10	be capable of –ing	～できる・～する能力がある
11	store	蓄える
12	shine	(太陽などが) 輝く・出ている
13	blow	(風が) 吹く
14	quite	かなり・とても
15	expensive	高価な
16	fall	落ちる・下がる
17	once	かつて
18	European Continent	ヨーロッパ大陸
19	hometown	故郷
20	opportunity	機会
21	miss	逃す
22	warming	温暖化
23	observe	観察する・観測する
24	result from ～	～から生じる

第４講　重要語彙リスト

＊授業を受ける前に最低限知っておいて欲しい語句です。

1	matter	重要である
2	count	重要である
3	argue	主張する・論じる
4	be to blame	責められるべきである
5	greenhouse effect	温室効果
6	realize	気づく
7	notice	気づく
8	leave A behind	A を置き忘れる
9	laptop	ノート型パソコン

第５講　重要語彙リスト

＊授業を受ける前に最低限知っておいて欲しい語句です。

1	peacock	クジャク
2	display	誇示する
3	tail	尾
4	expression	表現
5	proud	得意で
6	product	製品
7	entry into ～	～に入ること
8	dream of ～	～のことを夢に見る
9	marry	結婚する
10	separation	離別
11	occur to 人	（考えなどが）人に浮かぶ
12	reward	ご褒美

第６講 重要語彙リスト

＊授業を受ける前に最低限知っておいて欲しい語句です。

1	a sheet of ～	１枚の～
2	fold up	折りたたむ
3	hand	渡す
4	obey	従う
5	act	行動する
6	in a way that sv	sv する方法で
7	at least	少なくとも
8	harm	害を与える
9	make the best of ～	～を最大限に利用する
10	calcium	カルシウム
11	be full of ～	～でいっぱいである
12	A as well as B	B だけでなく A も
13	help 原形	～するのを助ける
14	prevent	防ぐ
15	fire	発砲する

第７講 重要語彙リスト

＊授業を受ける前に最低限知っておいて欲しい語句です。

1	not necessarily	必ずしも～ない
2	grow	～になる
3	wise	賢い
4	pass	過ぎる
5	casual	カジュアルな
6	envy	羨ましく思う
7	exhaust	疲れさせる
8	stay up all night	徹夜する

第８講　重要語彙リスト

＊授業を受ける前に最低限知っておいて欲しい語句です。

1	disease	病気
2	worldwide	世界中で
3	include	含む
4	information technology	情報技術
5	be in trouble	困っている
6	thus	だから・したがって
7	pay	支払う
8	government	行政
9	public	公共の
10	purpose	目的
11	income	収入
12	salary	給料
13	tax	税金
14	wage	賃金
15	bill	紙幣
16	vocabulary	語彙
17	meaning	意味

第 1 講　文型 - ①

前提知識の確認

☆用語をしっかり確認しておきましょう。

文の要素

	記号	記号の意味	働き	この要素になれる品詞
主語	S	subject (主語)	文の主体（メイン・主人公） を示す	名詞
動詞	V	verb (動詞)	「〜する」「〜である」に当たるもの 動作・状態を表す	動詞
目的語	O	object (目的語)	動作の対象・目的物を表す語 (主に「○○を」や「○○に」)	名詞
補語	C	complement (補語)	主語・目的語の内容を補う語	形容詞・名詞
修飾語	M	modifier (修飾語)	修飾する （より詳しく説明する）働き	副詞・形容詞 前置詞のカタマリ

☆どの品詞がどんな働きになるかを覚えておきましょう。

品詞から考えると…

名詞　　S ／ O ／ C のどれかになる

形容詞　C ／ M のどちらかになる

副詞　　M になる ※ here ／ there ／ home はすべて副詞

☆“前置詞＋名詞”のカタマリも M になります（厳密に言えば，名詞を修飾するときは「形容詞句になる」，動詞などを修飾するときは「副詞句になる」といいます）。

☆５つの文型をパッと言えるようにしておきましょう。

【文型】

第１文型 **SV** 主語＋動詞の形

※ M がくっついて，SVM（主語＋動詞＋副詞）の形になることがほとんど

第２文型 **SVC** 主語＋動詞＋補語の形

※補語には形容詞がくることが多い

第３文型 **SVO** 主語＋動詞＋目的語の形

※目的語になるのは名詞

第４文型 **SVOO** 主語＋動詞＋目的語＋目的語の形

※“主語＋動詞＋人＋物”の形がほとんど

第５文型 **SVOC** 主語＋動詞＋目的語＋補語の形

※補語には「形容詞・分詞（-ing ／ p.p.）・動詞の原形など」がくる

ポイント❶　５文型の全体像

【予習】

各英文を和訳してください。

（英文のすぐ下１行は空けておくこと）

1. You'll get to the airport by three o'clock.

2. He got angry.

3. Let's get some fresh air.

4. John's parents got him a new smartphone for Christmas.

5. The news got my family excited.

NOTE

ポイント❷ 第１文型

【英語の核心】

第１文型 **SVM**

Time flies.

proverb

光陰矢の如し。

ことわざ

■ 入試問題演習

(1)　次の英文を和訳しなさい。

Many people settled in Brazil at that time.

(2)　次の英文の下線部を和訳しなさい。

The woman tried to shout out “Help!” but the word stuck in her throat.

※ throat　「喉」

ポイント❸　第２文型と第３文型

【英語の核心】

第２文型　**SVC**

第３文型　**SVO**

☆ S V that ～「S は～と【　　　　　　　　　　　　　　】」という意味になる

Dreams come true.

proverb

夢ってかなうんだよ。

ことわざ

■ 入試問題演習

⑴ 次の英文を和訳しなさい。

The window remained open.

⑵ 次の英文を和訳しなさい。

Tom declared that he trusted what his girlfriend said.

ポイント❹ 第 4 文型

【英語の核心】

第 4 文型 **SVOO**

※ SVOC は第 2 講で詳しく扱います。

■ 入試問題演習

(1)　次の英文を和訳しなさい。

I will lend Mike my textbook.

(2)　次の英文を和訳しなさい。

She waved him good-bye.

第２講 文型 - ②

前提知識の確認

☆文法書やスタディサプリの『英文法』の講義で，「SVOC の語法」や「使役動詞」といったところを確認しておくのが望ましいのですが，時間がない人は，以下の動詞を見て，「あ，こういう動詞がきたら SVOC になるんだな」と，ざっくり眺めておいてください。

① 使役動詞・知覚動詞

使役動詞 make ／ have ／ let の３つだけ！

知覚動詞 see ／ look at ／ notice ／ watch ／ hear ／ feel ／ find

② 使役もどき

keep ／ leave ／ get

③ V 人 to 原形

allow ／ enable ／ force ／ advise などたくさん

④ help

help 人 {to} 原形

⑤ regard 型 V A as B

regard ／ think of ／ look on など

☆ 「O と C の関係」をチェックしておきましょう。

O と C の関係 → ① C に動詞（or 動詞の変化形）→ s′ ＋ v′ と考える
② C に形容詞・名詞 → O ＝ C と考える

NOTE

ポイント❶ SVOC の概念

1. SVOC の大枠

第５文型 SVOC の動詞の意味

【例文】

The news made me happy.

2. SVOC の根底にある意味

「S によって O が C する・C になる」→「使役」 make など

→「知覚」 find など ※頭の中でOがCになる→OをCだと知覚する

→「放置」 keep ／ leave ／ get など

→「命名」 call ／ name など

【例文】の和訳

ニュースを聞いて私は嬉しくなった。

３. SVOC の訳し方

【SVOC の正しい考え方】

構文：	S	V	O	C
実際：	M′	×	s′	v′
概念：	原因（理由）	無視 or 助動詞や副詞	主語	動詞
訳：	「S によって」	（ナシ or 動詞に意味を追加）	「O が」	「C する・C になる」

⑴ 「S によって」の詳述

「Sによって」→ 良い原因「Sのおかげで」
悪い原因「Sのせいで」

⑵ O と C について

① 用語
【s′・v′】「意味上の主語・動詞」のこと
s′は「主語っぽく」，v′は「動詞っぽく」訳すと考えてOK

② Cに形容詞・名詞がきたとき
O＝C「OがCだ」と訳す

■ 入試問題演習

⑴　次の英文を和訳しなさい。

This medicine will make you feel better in a few days.

⑵　次の英文を和訳しなさい。

She made John angry.

NOTE

ポイント❷ SV 人 to 原形 の考え方

● SV 人 to 原形 → SVOC →「S によって O が C する」という意味になる！

S	V	人	to 原形
↓	↓	↓	↓
S	V	O	C
M′	×	s′	v′
「S によって」	（ナシ or 動詞に意味を追加）	「O が」	「C する」

V 部分の詳述

可能な限り V 本来のニュアンスを和訳に盛り込む

① 知らない動詞の場合：無視して，訳出しない
※時制は考慮する：-ed であれば，v′ を過去形で訳せば OK

② 知っている動詞の場合：v′ に適切な助動詞や副詞のニュアンスを加える

【検証文】

Her help enabled me to do the job.

■ 入試問題演習

(1) 次の英文を和訳しなさい。

My careless remarks have caused the patient to be deeply depressed.

(2) 次の英文を和訳しなさい。

Bad weather forced us to call off the picnic.

ポイント❸ SVOC の「因果」の典型問題

【例題】

次の日本文の意味になるように，英文の（　　）内に適切な語（1 語）を入れなさい。

なぜあなたはそんな風に考えるの？

（　　）makes you think so?

■ 入試問題演習

⑴　次の対になった文がほぼ等しい意味になるように，（　　）内に適当な１語を入れなさい。ただし，各語の最初の１字は（　　）内に示してある。

Why did you tell such a transparent lie?

(W　　　)(m　　　) you tell such a transparent lie?

⑵　日本語の意味になるように，［　　］内の語を並べ替えなさい。

なぜそんな失礼なことを言ったのですか。

[a / made / say / such / what / you] rude thing?

第３講　SVの把握

ポイント❶　SVを見つける姿勢

(1)　大原則

最初に出てきた「名詞」をSと考え，それに対応するVを探す！

(2)　文頭に名詞が出てこない

①　文頭に「副詞」がくる

(a)　副詞

(b)　副詞句　“前置詞＋名詞”はMのカタマリを作る（前置詞直後にくる名詞はSになれない）

(c)　副詞節

②　特殊構文

(a)　命令文

(b)　There is 構文

Inside you there’s an artist you don’t know about.

Auguste Rodin

あなたの中には，自分でも知らない芸術家がいるものです。

オーギュスト・ロダン

■ 入試問題演習

(1) 次の英文を和訳しなさい。

When he spoke his voice was soft and low.

※ soft and low「穏やかで低い」

(2) 次の文章は３つの英文で構成されています。まずは英文全体を読んで意味を把握してみてください。その後に，１つめと３つめの英文の主語と動詞に下線を引いてください（主語も動詞も，単語１語とします）。

However, many difficulties to reaching the cleaner energy future imagined in the Paris conference remain. One is technological. Batteries capable of storing energy for use when the sun is not shining and the wind is not blowing are still quite expensive, though their costs are falling.

NOTE

ポイント❷ 名詞の「説明」で長くなるパターン

☆これらは「長い S」としてよく使われます。読解の際には,「SV の発見」が重要なのでしっかり押さえておきましょう。

⑴ 名詞に「後置修飾」がつく

① 名詞に“関係詞”がくっつく

ex. the man who lives next door

「隣に住んでいる男性」

② 名詞に“SV”がくっつく　※「関係詞の省略」のパターン

ex. the man I love

「私が大好きな人」

③ 名詞に“分詞（-ing ／ p.p.）”がくっつく

ex. the students reading in the library

「図書館で読書をしている学生たち」

④ 名詞に“前置詞＋名詞”がくっつく

ex. the support of the labor union

「労働組合の支援」

⑤ 名詞に“to 不定詞”がくっつく

ex. my decision to study abroad for two years

「2 年間留学するという私の決断」

⑥ 名詞に“普通の形容詞”がくっつく

ex. countries reluctant to allow women to participate in sports

「女性をスポーツに参加させることを渋っている国々」

※ be reluctant to 原形 「～することに気が進まない」（今回は後置修飾として使われているので be は不要）

allow 人 to 原形 「人が～することを可能にする」

⑵ 名詞直後に「補足説明」がくる

① 名詞に“同格のthat”がくっつく

ex. the fact that he passed the examination

「彼が試験に受かったという事実」

② 名詞に“同格の名詞”がくっつく

ex. James Cameron, the director of *Titanic* and *Avatar*

「『タイタニック』や『アバター』の監督であるジェームズ・キャメロン」

■ 入試問題演習

⑴　次の英文の空所を埋めるのに最も適切なものを１つ選びなさい。また，完成した英文を和訳しなさい。

Great Britain, which is now an island, (　　) once part of the European Continent.

1. which　　2. with　　3. being　　4. was

⑵　次の英文の空所を埋めるのに最も適切なものを１つ選びなさい。また，完成した英文を和訳しなさい。

A lot of people (　　) in my hometown work in Tokyo.

1. live　　2. life　　3. lived　　4. living

NOTE

ポイント❸ 予想と修正

原則に従って「予想」を立てたときに，うまくいかない場合は「修正」をする

⑴ V の予想と修正

【例文】

Most young people like you have smartphones.

⑵ S の予想と修正

最初に出てきた名詞が S にならない場合

① 倒置
② 副詞的目的格（名詞が副詞の働きをするもの）
Yesterday I saw him in the park.
③ 疑問文 ※ What や Who などが O になる可能性もある
④ 感嘆文

【例文】の和訳

あなた方のような若者の大半はスマホを所有している。

■ 入試問題演習

(1) 次の英文を和訳しなさい。

Opportunities you have missed will not return.

(2) 次の英文を和訳しなさい。

The warming observed during this century may have resulted from natural variations.

※ natural variations 「自然環境の変化」

第４講 強調構文

前提知識

☆今までに習った強調構文についての説明を確認してみてください。誰もが以下のような説明を聞いたことがあると思います（ざっと読み流す程度で OK です）。

【強調構文】

何か特定の語句を強調したいときに，It is ～ that ... の“～”部分に入れたものを強調する形を「強調構文」という。「It is と that で挟んで強調する」ともいう。
※強調できる語句は「名詞」と「副詞」（動詞と形容詞はこの形では使えない）

一般参考書の記述「強調構文の見抜き方」

① 名詞や副詞を強調するときは，その語句を It is と that で挟む。
② 強調構文の見抜き方は，It is と that を取り払って（その後に必要ならば語順を移動して）完全な文になれば「強調構文」である。

一般参考書の記述「強調構文の作り方」

何か特定の語句を強調したいときは，その語句を“**It is ～ that**”で**挟み込んで**やればよい（過去形のときは“It was ～ that”の形にもなる）。
例えば，

① James bought ② this CD ③ at this store ④ yesterday ⑤ because the tune was nice.

という文で，①～⑤の語句を強調したければ，それぞれを It is ～ that で挟み込めばよい。

① James を強調したい場合
It was James that bought this CD at this store yesterday because the tune was nice.

② this CD を強調したい場合
It was this CD that James bought at this store yesterday because the tune was nice.

☆ この場合 “this CD” を前に引っ張り出して It is ～ that で挟み込む。以下同様の手順でやってみればよい。ここから下の部分は隠して，③ at this store，④ yesterday，⑤ because the tune was nice が強調された場合を自力で書いてみること。

③ at this store を強調したい場合
It was at this store that James bought this CD yesterday because the tune was nice.

④ yesterday を強調したい場合
It was yesterday that James bought this CD at this store because the tune was nice.

⑤ because the tune was nice を強調したい場合
It was because the tune was nice that James bought this CD at this store yesterday.

☆以下の識別法は長文でとても役立つものです。ぜひチェックしておきましょう。

【It is ～ that ... の識別（基本）】

① It is 形容詞 that ... → 仮 S・真 S 構文
② It is p.p. that ... → 仮 S・真 S 構文

【It is ～ that ... の識別（応用）】

It is 名詞 that ... → that ... が「完全文」→ 仮 S・真 S 構文
→ that ... が「不完全文」→ 強調構文

ポイント❶　強調構文の基本

【大前提】　強調構文は【　　　　　　　　　　　　　　　　　　】を前提に使う !!

(1)　基本形　It is not A but B that 〜.

(2)　頻出形

①　not A を強調

It is not A that 〜, but B.
It is not A that 〜. B（肯定文）.　☆ B は「筆者の主張」になる

②　but B を強調

… not A（否定文）. It is B that 〜.
It is B that 〜, not A.

■ 入試問題演習

⑴　次の英文の空所を埋めるのに最も適切なものを１つ選びなさい。

It is not what you have, but what you are (　　) matters.

1. it　　2. nothing　　3. that　　4. this　　5. what

⑵　次の英文を和訳しなさい。

It is what you do that counts, not what you say.

ポイント❷ 強調構文の即断パターン

【必殺即断パターン】

① not 系・対立系

It is not A that ～.「～なのは実は A ではない」
It is not A that ～, but B.「～なのは実は A ではなく，B だ」
It is not only A that ～.「～なのは実は A だけではない」
It is not only A that ～, but B.「～なのは実は A だけでなく，B もだ」
It is not so much A that ～, as [but] B.「～なのは実は A というより，むしろ B だ」
It is B as well as A that ～.「～なのは実は A だけでなく B もだ」
It is B rather than A that ～.「～なのは実は A というよりむしろ B だ」

② 強調系

It is only B that ～.「～なのは実は B だけだ」
It is the very B that ～.「～なのはまさに B だ」
It is this B that ～.「～なのはまさにこの B だ」
It is really B that ～.「～なのは本当は B だ」
It is indeed B that ～.「～なのは実際は B だ」
It is mainly B that ～.「～なのは主に B だ」

■ 入試問題演習

⑴　次の英文を和訳しなさい。

Many argue that it’s mainly the car that is to blame for the greenhouse effect.

ポイント❸ 強調構文の諸注意

(1) 何を強調するのか

① S を強調　② O を強調　③ 副詞を強調

※要は“名詞”か“副詞”を強調 ＝ 動詞・形容詞・C になる名詞は強調できない

(2) 強調構文のバリエーション

① It is 人 who ～.　※ that → who になることもある

② It is 物 which ～.　※ that → which になることもある

③ It was X that ～.　※ is → was になることもある

■ 入試問題演習

⑴　次の英文を和訳しなさい。

It is only after you have lost your beloved one that you realize how important he or she is.

※ beloved one　「愛する人」

ポイント❹　強調構文を使った重要構文

(1) 重要構文

① 疑問詞の強調

[疑問詞] is it that ～?　「一体全体 [疑問詞] ～」

※間接疑問文の場合は普通の語順（it is）になる　ex. I know [疑問詞] it is that ～.

② until を使った構文

It was not until ～ that ...　「～してはじめて…した」

【参考】この構文ができあがるプロセス

ex.　Until five years later I didn't hear of his marriage.

↓（Until five years later）を強調構文 It was ～ that で挟む

It was until five years later that I didn't hear of his marriage.

↓ not を前へ

It was not until five years later that I did hear of his marriage.

↓ did ＋ hear=heard なので

It was not until five years later that I heard of his marriage.

(2) It is ～ that ... の識別のまとめ

① It is [副詞] that ... → 強調構文　※ [副詞] には副詞句・副詞節も OK

② It is [形容詞] that ... → 仮 S・真 S 構文

③ It is p.p. that ... → 仮 S・真 S 構文

④ It is [名詞] that ... → that ... が「完全文」→ 仮 S・真 S 構文

→ that ... が「不完全文」→ 強調構文

■ 入試問題演習

(1) 次の英文を和訳しなさい。

It was not until my father came home that he noticed he had left his laptop behind.

(2) 次の英文を和訳しなさい。

What is it that made him so angry?

第５講 倒置

ポイント❶ 任意倒置（その１）

1. 倒置の全体像（2 種類の倒置）

⑴ 任意倒置 【文型によってパターンが決まっている】

⑵ 強制倒置 【文頭に否定語がきたら倒置（疑問文の語順に）】

2. 任意倒置の「パターンと見抜き方」（その１）

第１文型 SVM → MVS

第２文型 SVC → CVS

■ 入試問題演習

(1)　次の英文の下線部を和訳しなさい。“as proud as a peacock” は日本語にせずにそのまま書いてかまいません。

Peacocks are often seen displaying their beautiful tails. From this activity comes the expression “as proud as a peacock.”

ポイント❷ 任意倒置（その2）

任意倒置の「パターンと見抜き方」（その2）

第３文型 SVO → OSV

第４文型 SVOO → OSVO

第５文型 SVOC → SVCO

■ 入試問題演習

(1) 次の英文を和訳しなさい。

The product made possible the company's entry into the Japanese market.

ポイント❸ 強制倒置の最重要点

⑴ 否定語をチェック

① 完全否定

Not ／ Never ／ Little ※倒置で使う Little は「完全否定」の意味になる

② 準否定語

Hardly ／ Scarcely「ほとんど～でない」

Rarely ／ Seldom「めったに～でない」 ※「頻度」を表す

③ 前置詞と no を使ったもの

Under no circumstances「どんな状況であれ～ない」

At no time「決して～しない」

④ 要注意の否定語

Only

⑵ 倒置の形

文頭の否定語＋倒置

└→疑問文と同じ語順

■ 入試問題演習

(1)　次の英文を和訳しなさい。

Never have I dreamed of marrying my first love after years of separation.

※ first love「初恋の人」

ポイント❹ 強制倒置の注意点

(1) 割り込みパターンに注意

否定語 (副詞) V S.
「文頭の否定語を見たら倒置を探す」という心構えが必要

【補足】文頭に否定語がきても「倒置が起きない」ケース

① 主語を修飾する No ／ Not

主語を修飾する No ／ Not の場合には倒置は起きない
(“No ＋名詞” が「1 つの主語」になっているだけ)

No man can live forever. 「どんな人も永遠には生きられない。」

② 実質「肯定文」

Not surprisingly, SV. 「驚くことではないが，SV だ」

■ 入試問題演習

⑴　次の英文を和訳しなさい。

Not until later did it occur to me that something was wrong.

⑵　次の英文の空所を埋めるのに最も適切なものを１つ選びなさい。

Only when you pass the examination (　　) a reward.

1. can you get　　2. you can get

3. you could get　　4. you get

第６講　接続詞 - ①

ポイント❶　等位接続詞（and 型接続詞）の考え方

and を見たら…

① “A and B”の形を予想する
② and の「直後にある B」に注目
③ B と対等な品詞（A に相当するもの）を and の前で探す

補足事項

① and 直後の「副詞の挿入」に注意　“A and（M）B”の形
② ３つの並列　“A, B and C”の形になる　※“A and B and C”の形は稀
③ ４つ以上の並列　“A, B, C, D,...and X”の形になる

■ 入試問題演習

⑴　次の英文を和訳しなさい。

She wrote her e-mail address on a sheet of paper, folded it up, and handed it to him under the table.

⑵　次の英文を和訳しなさい。the rules は「そういったルール」とします。

People who obey the rules will act in a way that helps, or at least does not harm, society.

ポイント❷ 従属接続詞（when・if 型接続詞）の考え方（その 1）

従属接続詞がとる形 ※従属接続詞のカタマリは副詞節を作ります。

⑴ （接続詞 sv）, SV. ※副詞節が前にある
⑵ SV（接続詞 sv）. ※副詞節が後ろにある ☆どちらも意味は同じ

【従属接続詞（その 1）】

時
when「～するとき」, while「～する間」, before「～する前に」,
after「～する後に」, till ／ until「～までずっと」,
since「～してから今まで」, as soon as「～するとすぐに」,
by the time「～するまでには」,

条件
if「もし～なら」, unless「～しない限り」,
as long as ／ so long as「～する限りは」,
as far as ／ so far as「～する限りは」,

理由
because「～だから」, since ／ as「～だから」

譲歩
though ／ although「～だけれども」, even if「たとえ～でも」,
even though「たとえ～でも」, whether「～してもしなくても」

■ 入試問題演習

⑴ 次の英文を和訳しなさい。

If according to your ideal, you need to be smart, and you make a stupid mistake, the result will be an ideal-reality conflict.

ポイント❸ 従属接続詞（when・if 型接続詞）の考え方（その 2）

【従属接続詞（その 2）】

時

every time ／ any time「～するときはいつでも」,

the moment ／ the minute ／ the instant「～するとすぐに」,

whenever「～するときはいつでも」

条件

once「いったん～すれば」, in case「～する場合は・～するといけないから」,

suppose ／ supposing ／ provided ／ providing「もし～なら」

対比

while「～する一方で」, whereas「～する一方で」

理由

in that「～だから」, now that「今やもう～だから」

様態

as「～のように」, as if ／ as though「まるで～のように」

■ 入試問題演習

(1) 次の英文を和訳しなさい。

Driving a car isn't so difficult once you get the hang of it.

※ hang「コツ」

(2) 次の英文を和訳しなさい。

Write down your password in case you forget it.

第７講　接続詞 - ②

ポイント❶　as の全体像と「比例の as」

as の全体像（品詞）

(1)	接続詞	“(As sv), SV.” の形 ※接続詞なので as の直後の sv は「完全文」
(2)	前置詞	as の直後は名詞がくる
(3)	副詞	いわゆる “as ～ as …” の前半の as（後半の as は接続詞）
(4)	関係代名詞	先行詞に such ／ the same がつく　※ as の後は「不完全文」
(5)	その他	熟語を作る as など

熟語の as

① such A as B ／ A such as B 「B のような A」
② the same A as B 「B と同じ A」
③ as it were 「いわば」

接続詞 as の３大チェックポイント

1. 形　“As sv, SV.” の形になる

2. 意味　核心「同時に」

3.「識別方法」をチェック！

【接続詞の as】

⑴　時「～するとき・～しながら」

I waved my hand at my friends as I left the classroom.
私は教室を出るときに，友だちに手を振った。（手を振りながら出た）
※「手を振る」と「教室を出る」が同時に発生

⑵　比例「～するにつれて」

「比例の as」の識別方法

【変化のある単語】
①　比較級
②　変化動詞　become ／ grow ／ turn ／ get ／ change ／ vary など
　　移動動詞　go ／ pass ／ increase ／ rise ／ climb ／ appear ／ disappear など

As we grow older, we become physically weaker.
年をとるにつれて，体力は落ちる。
※「年をとる」と「弱くなる」のが同時に進行

⑶　比較「～と同じくらい」
いわゆる “as ～ as …” の後半の as（ちなみに前半の as は副詞）

He is as old as I am.　彼は私と同じ年齢だ。
※「年齢」が同じ

■ 入試問題演習

(1)　次の英文を和訳しなさい。

We do not necessarily grow wiser as we grow older.

(2)　次の英文を和訳しなさい。

As time passed, the sky got darker.

NOTE

ポイント❷ 「様態の as」

⑷ 理由「～なので」

As he was sick, he couldn’t attend the meeting.
彼は気分が悪かったので，ミーティングに参加できなかった。
※「気分が悪い」のと「参加できない」が同時に起きている

⑸ 様態「～するのと同じように」

「様態の as」の識別方法

① 似た表現の繰り返し　② 代動詞（do ／ does ／ did）　③ 省略

When you are in Rome, do as the Romans do.
郷に入っては郷に従え。　※ことわざ
（直訳：ローマにいるときは，ローマ人のするようにしなさい）
※「やり方」が同じ

様態の明示化 just ／much ／so を使う

① Just as sv, SV.「sv するのとちょうど同じように，SV だ」
② Much as sv, SV.「sv するのとほとんど同じように，SV だ」
③ As sv, so SV.「sv するのと同じように，SV だ」

【様態の as を使った慣用表現】

① as it is ／ as they are「そのままで」
② as if ～「まるで～のように」

■ 入試問題演習

⑴　次の英文を和訳しなさい。

I wore casual clothes just as other students did.

ポイント❸　「譲歩の as」

⑹　譲歩「～だけれども」

「譲歩の as」の識別方法

形：変わった語順になる　“X as sv, SV.”
意味：譲歩「sv はXだけれども，SV だ」

Beautiful as she is, she has never had a boyfriend all her life.
彼女はキレイなんだけど，今までに一度も彼氏はいたことがないんだよ。

※「キレイ」と「ずっと彼氏いない」が同時

【細かいこと】

①　X には 形容詞・副詞・無冠詞名詞 がくる

②　“As 形容詞・副詞 as sv, SV.”のように文頭に As がつくことがある

■ 入試問題演習

⑴ 次の英文を和訳しなさい。

Rich as he is, I don’t envy him.

⑵ 次の英文を和訳しなさい。

Exhausted as she was, she stayed up all night to finish the job.

第８講　因果構文・イコール構文

ポイント❶　因果表現（その１）

(1)　原因 V 結果 の形をとるもの 「原因 によって 結果 になる」

原因 cause 結果	原因 bring about 結果
原因 lead to 結果	原因 contribute to 結果
原因 result in 結果	原因 give rise to 結果
原因 is responsible for 結果	

☆受動態になることも多い → 原因 と結果をきちんと把握すること！

結果 is caused by 原因
結果 is brought about by 原因

(2)　結果 V 原因の形をとるもの 「結果 は原因 によるものだ」

結果 result from 原因	結果 come from 原因
結果 arise from 原因	

Self-conceit may lead to self-destruction.

Aesop

自己過信は自己破壊につながるかもしれない。

イソップ

Gravitation is not responsible for people falling in love.

Albert Einstein

重力のせいで人が恋に落ちるのではない。

アルバート・アインシュタイン

■ 入試問題演習

(1) 次の英文の下線部を和訳しなさい。

Diseases carried by water cause the deaths of five million people worldwide each year, including many children.

(2) 次の英文を和訳しなさい。

Information technology has brought about a great change in our lives.

ポイント❷ 因果表現（その２）

⑶ V 結果 to 原因 の形をとるもの 「結果を原因によるものだと考える」

owe 結果 to 原因
attribute 結果 to 原因
ascribe 結果 to 原因

【補定】前置詞で因果を表すもの

⑴ ～が原因で

because of 原因
due to 原因
owing to 原因
on account of 原因 ※直訳「～という説明（account）に基づいて（on）」
as a result of 原因 cf. 原因 . As a result, 結果 .「原因だ。その結果として結果だ」
through 原因

⑵ ～のおかげで

thanks to 原因

■ 入試問題演習

⑴ 次の英文の下線部を和訳しなさい。

When Tim was in trouble, it was always his family who gave him the best advice. Thus he feels that <u>he owes what he is to his family</u>.

ポイント❸ イコール表現

「イコール（＝）」の意味になる動詞

be ／ mean ／ refer to ／ involve ／ include ／ represent ／ show

イコール表現を意識する

<table>
<tr><th>意味
英単語</th><th>よく示される訳語</th><th>重要なイメージ</th></tr>
<tr><td>be</td><td>～である</td><td rowspan="3">「イコール」を意識</td></tr>
<tr><td>mean</td><td>～を意味する</td></tr>
<tr><td>refer to</td><td>～に言及する</td></tr>
<tr><td>involve</td><td>～を含む・巻き込む</td><td rowspan="4">オーバーに言えば
「イコール」と考える</td></tr>
<tr><td>include</td><td>～を含む</td></tr>
<tr><td>represent</td><td>～を代表する</td></tr>
<tr><td>show</td><td>～を示す</td></tr>
</table>

【補足】文型構造の違い

be のみ「第２文型」，その他の動詞はすべて「第３文型」を作る

→「文型」という観点からは違いがありますが，この「イコール動詞」は文型という枠組みを無視して，どれもまとめて考えて OK です。

■ 入試問題演習

⑴ 次の英文の空所を埋めるのに最も適切なものを１つ選びなさい。

The word “(　　)” means money to be paid by people or businesses to a government for public purposes.

1. income　2. salary　3. tax　4. wage

⑵ 次の英文の空所を埋めるのに最も適切なものを１つ選びなさい。

The word “(　　)” refers to money that people or businesses have to pay to the government for public services.

1. bill　2. income　3. salary

4. tax　5. wage

⑶ 次の英文を和訳しなさい。

Learning new English vocabulary involves more than just learning the meanings of words.

テキスト解答解説

第１講　文型 - ①　解答

p.3

【予習】

1. 和訳 第１文型／３時までには空港に着くでしょう。

   英文 You’ll get to the airport by three o’clock.

2. 和訳 第２文型／彼は怒った。

   英文 He got angry.

3. 和訳 第３文型／新鮮な空気を吸おうよ。

   英文 Let’s get some fresh air.

4. 和訳 第４文型／クリスマスにジョンの両親は，ジョンに新しいスマートフォンを買ってあげた。

   英文 John’s parents got him a new smartphone for Christmas.

5. 和訳 第５文型／その知らせを聞いて，ウチの家族はワクワクした。

   英文 The news got my family excited.

p.6

■ 入試問題演習

(1) 和訳 当時，たくさんの人がブラジルにいた（定住した）。

英文 Many people settled in Brazil at that time.

語句 settle「移住する・定住する」

(2) その言葉は喉にあった・つまった（声にならなかった）。

和訳 その女性は「助けて」と叫ぼうとしたが，その言葉は喉にあった・つまった（声にならなかった）。

英文 The woman tried to shout out “Help!” but the word stuck in her throat.

語句 stick「動かなくなる」

p.8

■ 入試問題演習

(1) 和訳 その窓は開いたままだった。

英文 The window remained open.

(2) 和訳 トムは自分の彼女が言ったことを信用すると言った（断言した）。

英文 Tom declared that he trusted what his girlfriend said.

語句 declare「断言する」 trust「信用する」

p.10

■ 入試問題演習

(1) 和訳 私はマイクに教科書を貸すつもりだ。

英文 I will lend Mike my textbook.

(2) 和訳 彼女は彼に手を振ってさよならをした。

英文 She waved him good-bye.

語句 wave「手を振る」

第２講 文型 - ② 解答

p.5

■ 入試問題演習

(1) 和訳 この薬を飲めば，あなたは数日で具合がよくなるでしょう。

英文 This medicine will make you feel better in a few days.

(2) 和訳 彼女はジョンを怒らせた。／彼女のせいでジョンは怒った。

英文 She made John angry.

p.7

【検証文】彼女が手伝ってくれたので，私はその仕事をすることができた。

p.8

■ 入試問題演習

(1) 和訳 私の不注意な発言のせいでその患者はひどく落ち込んでしまった。

英文 My careless remarks have caused the patient to be deeply depressed.

語句 careless「不注意な」 remark「発言」

cause 人 to 原形「人が～するのを引き起こす」 patient「患者」

deeply「深く」 depress「落胆させる」

(2) 和訳 悪天候のため我々はピクニックを中止せざるをえなかった。

英文 Bad weather forced us to call off the picnic.

語句 force 人 to 原形「人に～するのを強制する」 call off「中止する」

p.10

■ 入試問題演習

⑴ What ／ made

和訳 どうしてそんな見えすいた嘘をついたのですか。

英文 What made you tell such a transparent lie?

語句 such「そのような」 transparent「透明な・見えすいた」

⑵ [What made you say such a] rude thing?

語句 rude「失礼な」

第３講　SVの把握　解答

p.3

■ 入試問題演習

(1) 和訳 彼が話したとき，彼の声は穏やかで低いものだった。

英文 When he spoke his voice was soft and low.

(2) １つめの英文

主語：difficulties

動詞：remain

３つめの英文

主語：Batteries

動詞：are

和訳 しかしながら，パリ会議（2015年の第21回気候変動枠組条約締約国会議）で想像された，よりクリーンなエネルギーの未来に到達するには多くの問題が残っている。１つは技術的なことである。太陽が出ていないときや風が吹いていないときに使えるようにエネルギーを蓄えておける電池は，コストは下がりつつあるけれども，依然として非常に高価である。

英文 However, many difficulties to reaching the cleaner energy future imagined in the Paris conference remain. One is technological. Batteries capable of storing energy for use when the sun is not shining and the wind is not blowing are still quite expensive, though their costs are falling.

語句 difficulty「困難・問題」 reach「到達する」

clean energy future「（大気汚染に影響を与える物質が全体的に減った）クリーンなエネルギーを使った未来（の姿）」

※「エネルギー自体の未来」ではない

imagine「想像する」 conference「会議」 remain「残っている」

technological「技術的な」 battery「電池」

be capable of –ing「～できる・～する能力がある」

※今回は後置修飾として使われているので be は不要

store「蓄える」 shine「（太陽などが）輝く･出ている」 blow「（風が）吹く」

quite「かなり・とても」 expensive「高価な」 fall「落ちる・下がる」

p.7

■ 入試問題演習

(1) 4

和訳 イギリスは今では島国だが，かつてはヨーロッパ大陸の一部だった。

英文 Great Britain, which is now an island, was once part of the European Continent.

語句 once「かつて」 European Continent「ヨーロッパ大陸」

(2) 4

和訳 私の故郷に住んでいる多くの人々が，東京で働いている。

英文 A lot of people living in my hometown work in Tokyo.

語句 hometown「故郷」

p.10

■ 入試問題演習

(1) 和訳 （1 度）逃してしまった機会は，（2 度と）戻ってこない。

英文 Opportunities you have missed will not return.

語句 opportunity「機会」 miss「逃す」

(2) 和訳 今世紀に観測された地球温暖化は自然環境の変化が原因だったのかもしれない。

英文 The warming observed during this century may have resulted from natural variations.

語句 warming「温暖化」 observe「観察する・観測する」
result from ～「～から生じる」

第４講　強調構文　解答

p.4

■ 入試問題演習

(1) 3

和訳 大切なのは，（決して）財産ではなく，（実は）人となり（人間性・人柄）なのです。

英文 It is not what you have, but what you are that matters.

語句 matter「重要である」

(2) 和訳 大切なのは（決して）言葉ではなく（実は）行動だ。

英文 It is what you do that counts, not what you say.

語句 count「重要である」

p.6

■ 入試問題演習

(1) 和訳 多くの人が論じることだが，温室効果の責任は，実は主に自動車である。

英文 Many argue that it's mainly the car that is to blame for the greenhouse effect.

語句 argue「主張する・論じる」
be to blame for ～「～に対して責められるべきである」
greenhouse effect「温室効果・温暖化」

p.8

■ 入試問題演習

(1) 和訳 失ってみてはじめて，愛する人の大切さがわかるものだ。

英文 It is only after you have lost your beloved one that you realize how important he or she is.

p.10

■ 入試問題演習

(1) 和訳 父は，家に帰ってきてはじめて，ノート型パソコンを忘れたことに気づいた。

英文 It was not until my father came home that he noticed he had left his laptop behind.

語句 notice「気づく」 leave A behind「A を置き忘れる」
laptop「ノート型パソコン」

(2) 和訳 一体全体なぜ彼はそんなに怒っているの？

英文 What is it that made him so angry?

第５講　倒置　解答

p.2

■ 入試問題演習

(1)　この行動に由来するのが，as proud as a peacock という表現なのである。

和訳　クジャクはよく美しい尾を誇示している。この行動に由来するのが，「ものすごく（クジャクのように）得意げに」という表現なのである。

英文　Peacocks are often seen displaying their beautiful tails. From this activity comes the expression “as proud as a peacock.”

語句　peacock「クジャク」　display「誇示する」　tail「尾」
expression「表現」　proud「得意な」

p.4

■ 入試問題演習

(1)　和訳　その製品のおかげでその会社は日本市場へ参入できた。

英文　The product made possible the company’s entry into the Japanese market.

語句　product「製品」　entry into ～「～に入ること」

p.6

■ 入試問題演習

(1)　和訳　何年も離れ離れになった後で初恋の人と結婚するなんて，一度たりとも夢にも思っていなかった。

英文　Never have I dreamed of marrying my first love after years of separation.

語句　dream of ～「～のことを夢に見る」　marry「結婚する」
separation「離別」

p.8

■ 入試問題演習

(1) 和訳 後になってはじめて，何かおかしいと私は思った。

英文 Not until later did it occur to me that something was wrong.

語句 occur to 人「(考えなどが) 人に浮かぶ」

(2) 1

和訳 試験に合格したときだけ（してはじめて），ご褒美がもらえる。

英文 Only when you pass the examination can you get a reward.

語句 reward「ご褒美」

第６講 接続詞 - ① 解答

p.2

■ 入試問題演習

(1) 和訳 彼女は自分のメールアドレスを紙に書き，その紙を折りたたんで，テーブルの下で彼に手渡した。

英文 She wrote her e-mail address on a sheet of paper, folded it up, and handed it to him under the table.

語句 a sheet of ～「1 枚の～」 fold up「折りたたむ」 hand「渡す」

(2) 和訳 そういったルールに従う人は社会に役立つ（利益をもたらす）か，もしくは少なくとも社会に害を与えないように行動をするものである。

英文 People who obey the rules will act in a way that helps, or at least does not harm, society.

語句 obey「従う」 act「行動する」 in a way that sv「sv する方法で」
at least「少なくとも」 harm「害を与える」

p.4

■ 入試問題演習

(1) 和訳 もし，あなたの理想において，自分が賢くいないといけないのに，愚かな間違いをしたならば，その結果は理想と現実がぶつかり合うことになる。

英文 If according to your ideal, you need to be smart, and you make a stupid mistake, the result will be an ideal-reality conflict.

語句 ideal「理想」 smart「賢明な」 stupid「愚かな」 conflict「対立・矛盾」

構文解析・直訳

❨If (according to your ideal), you need to be smart, and you make a stupid mistake❩, the result will be an ideal-reality conflict.

もし，あなたの理想に従って，あなたが賢明である必要があるのと同時に，愚かな間違いをしたならば，その結果は理想と現実の矛盾となる。

p.6

■ 入試問題演習

⑴ 和訳 一旦コツをつかめば，車の運転は，そんなに難しくない。

英文 Driving a car isn’t so difficult once you get the hang of it.

⑵ 和訳 万一忘れるといけないからパスワードを書き留めておきなさい。

英文 Write down your password in case you forget it.

第７講 接続詞 - ② 解答

p.3

■ 入試問題演習

⑴ 和訳 年齢を重ねるにつれて，必ずしも賢くなるとは限らないのです。

英文 We do not necessarily grow wiser as we grow older.

語句 not necessarily「必ずしも〜ない」

⑵ 和訳 時間が経つにつれて，空はより暗くなった。

英文 As time passed, the sky got darker.

p.6

■ 入試問題演習

⑴ 和訳 他の生徒がしたのとちょうど同じように，私はカジュアルな服装をしていた。

英文 I wore casual clothes just as other students did.

p.8

■ 入試問題演習

⑴ 和訳 彼はお金持ちだが，私は羨ましいとは思わない。

英文 Rich as he is, I don’t envy him.

語句 envy「羨ましく思う」

⑵ 和訳 彼女は疲れていたが，仕事を終わらせるために徹夜した。

英文 Exhausted as she was, she stayed up all night to finish the job.

語句 exhaust「疲れさせる」 stay up all night「徹夜する」

第８講 因果構文・イコール構文 解答

p.2

■ 入試問題演習

(1) 水を通して感染する病気が原因で 500 万人が死んでいる

和訳 水を通して感染する病気が原因で，世界中で毎年 500 万人が亡くなっている。その中には多くの子どもが含まれている。

英文 Diseases carried by water cause the deaths of five million people worldwide each year, including many children.

語句 disease「病気」 worldwide「世界中で」 including「含めて」

(2) 和訳 情報技術によって，我々の生活は大きく変わった（変わってきた）。

英文 Information technology has brought about a great change in our lives.

語句 information technology「情報技術」 bring about ～「～をもたらす」

p.4

■ 入試問題演習

(1) 今の自分（彼）があるのは，家族のおかげだ

和訳 ティムが困ったとき，最高のアドバイスをしてくれたのは，（実は）いつだって彼の家族だった。だから，彼は今の自分があるのは，家族のおかげだと思っている。

英文 When Tim was in trouble, it was always his family who gave him the best advice. Thus he feels that he owes what he is to his family.

語句 be in trouble「困っている」

it was ～ that ...「…なのは～だった（強調構文）」

thus「だから・したがって」 owe A to B「A は B のおかげである」

p.6

■ 入試問題演習

(1) 3

和訳 税金とは，公共の目的のために一般市民や企業が行政に支払うお金のことである。

英文 The word “tax” means money to be paid by people or businesses to a government for public purposes.

語句 pay「支払う」 government「行政」 public「公共の」 purpose「目的」 income「収入」 salary「給料」 tax「税金」 wage「賃金」

(2) 4

和訳 税金は，一般市民や企業が公共事業のために行政に支払わなければならないお金のことだ。

英文 The word “tax” refers to money that people or businesses have to pay to the government for public services.

語句 bill「紙幣」

(3) 和訳 新しい英語の語彙を学ぶことは，単にその単語の意味を学ぶことだけではないのだ。

英文 Learning new English vocabulary involves more than just learning the meanings of words.

語句 vocabulary「語彙」 more than ～「～だけではない」 meaning「意味」